

やすらぎ通信

第 92 号（平成 30 年 7 月 1 日） 発行：大阪急性期・総合医療センター

（写真号）

この度の震災により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

文月（ふみづき）



（「みたらい溪谷」撮影地：奈良県吉野郡天川村）

今月のほっとさん



私の住んでいる街は大阪府の南部岸和田市です。毎日、南海電車で揺られながら通勤しています。岸和田市にはお城があり、春は花見の名所となっています。庭園は八陣の庭として国の名勝に指定されています。八陣の庭は諸葛孔明の八陣法をテーマにしたとされ、中央の大将と先端の天・地・風・雲・鳥・蛇・竜・虎の各陣に石組みが配されているそうです。岸和田と言えばだんじり祭りが有名です。9

月の敬老の日（ハッピーマンデー）の3連休の土曜日と日曜日に開催されます。私たちが学生の頃は9月15日が敬老の日でしたので、お祭りは9月14、15日と決まっていました。お祭りは前日の金曜日の午後から試験曳きで、市内の小中学校は金曜日の午後からお休みです。土曜日は午前6時から曳き出し、午後からはパレード、日曜日は宮入りです。9月のお祭りは岸和田地区と春木地区に分かれていて私の住んでいる北町は岸和田地区です。岸和田地区のだんじりは春木南を入れて22町、土曜日のパレードの順番は毎年抽選で決まります。だんじりは各町ごとに維持され、だんじり小屋に保管されています。岸和田のカレンダーは9月はじまり、岸和田の商店街のアーケードはだんじりのために高く、歩道もだんじりのためにバリアフリーになっています。少子化社会なのにだんじりのあるおかげ？か子ども会も活発に活動、昔ながらに子どもたちが地域に見守られている感じが強く、そんな街が私はとても好きです。商店街には何年か前にNHKの朝の連続テレビ小説カーネーションの主人公のモデルになった小篠綾子さん（コシノ3姉妹のお母さん）の家も改装されて残っています。当時は観光客も多く、街中をツアーガイドの方が旗を持って歩いている姿もよく見かけました。最近インバウンドで関西国際空港が近いこともあり、街中に外国の方を多く見かけるようになりました。山手に行けばホテルが飛び交う自然もいっぱいです。そんな岸和田に、皆さんも一度遊びに来ませんか。

地域の医療機関の皆様へ

【精神科の診療内容のご紹介】

精神科閉鎖病棟をもつ総合病院は、大学病院を除くと大阪府下で3病院しかなく、当センターの精神科では、総合病院の特長を最大限に生かして、身体合併症対応に特化した病棟運営をしています。

図1は精神科新入院患者数と合併症患者数です。合併症患者の比率が平成14年頃から徐々に増え、平成21年度以降は8~9割となっています。身体疾患の治療は、救急診療科をはじめすべての診療科に協力いただいています。

そして、身体の治療が終われば、できるだけすみやかに退院または紹介元に転院していただき、新たな患者さんを受け入れています。

図1

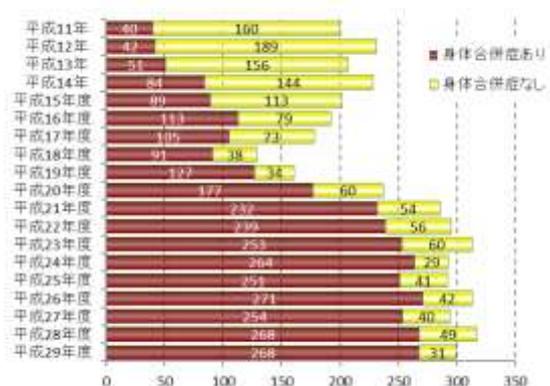
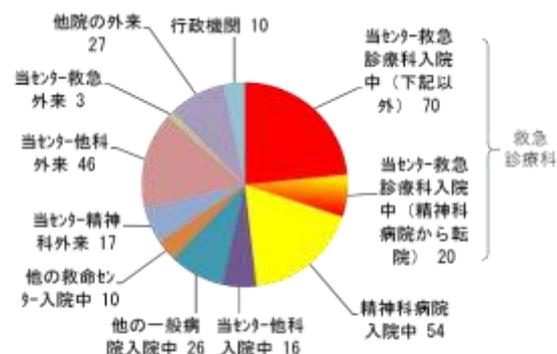


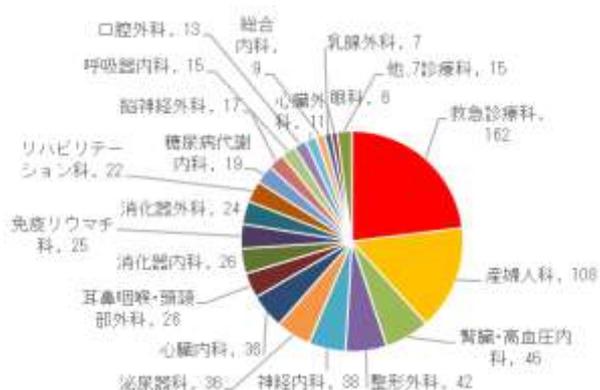
図2は昨年度の精神科入院患者の直前の依頼元です。当センターの救命救急センターと、単科の精神科病院からの転院で約半数を占めています。ほかに、当センター以外の総合病院や救命救急センターからも受け入れています。精神科病棟では、精神疾患と身体疾患を同時に治療する密度の高い医療を提供しており、病棟看護師は精神・身体両面の看護を行っています。

図2



一方、精神科病棟以外でも、他科で治療中に必要が生じた患者さんの精神科診療を行っています。図3は昨年度の精神科新患844人のうち、院内他科から紹介された703人の診療科別内訳です(他科入院中の477人、他科外来からの226人を含みます)。救急診療科が最も多く、産婦人科からは、精神疾患をもった妊婦さんが数多く紹介されます。一般病棟入院中の患者さんでは、せん妄が4割近くを占めています。また、緩和ケアチーム、認知症ケアチームにも精神科医が参加しています。

図3



これらの総合病院ならではの業務に専念するため、一般的な精神科外来は行っておらず、地域医療機関の先生方にはご不便をおかけして申し訳ありません。ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。

精神科 主任部長 松永 秀典

今月の風景



【コメント】

西方ヶ岳から見た若狭湾の写真です。西方ヶ岳は、敦賀半島のほぼ中ほどにあります。近くで見る海も良いですが、山から眺め下ろす海も、広がりや場所が変わる青の色合いが楽しめました。

<匿名希望「西方ヶ岳から見た若狭湾」撮影地：福井県敦賀市>

編集後記

今月の表紙は、投稿をいただきました「みたらい溪谷」の写真です。近鉄の下市口駅からバスで約1時間。エメラルドグリーンに輝く清流と大小様々な滝や巨岩を縫う溪谷の遊歩道を歩きながら、四季折々の景観を楽しめるそうです。滝の上で水に足を浸している方がいらっしゃって、とても涼しげですね。

<お願い>

読者の皆様からも、今後の表紙と「今月の風景」を飾る写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただける方は下記宛先までお送りください。

【宛先】 kyuseisogo@opho.jp

【注意事項】

- ・投稿写真はご自分で撮影したオリジナルの作品に限ります。

- ・タイトル、撮影日時、場所についてのコメントをメール本文に記載ください。
- ・作品は著作権、肖像権を侵害するおそれのないものに限りします。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」
「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。